

有田川町議会広報

かわら版

平成19年5月発行

第5号

発行 有田川町議会
住所 和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
郵便番号 643-0021
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-3210
<http://www.town.aitagawa.lg.jp/profile/gkaicho.html>



千葉県を背に有田を駆けぬける特急くろしお号(写真提供：坂上多彦氏)

もくじ

平成19年度一般会計予算等	2 ~ 4
町長にもの申す(一般質問).....	5 ~ 18
議長・副議長あいさつ、委員会レポート.....	19
請願・陳情/ 編集後記等	20

平成19年度一般会計予算 162億700万円!!

平成19年第1回定例会は3月7日から22日までの日程で開会されました。

定例会には、条例制定、18年度補正予算、19年度予算、人権擁護委員の選任の同意、条例の一部改正、道路線の認定等の43件の議案が提案され、それぞれ審議し、原案の通り可決されました。

○平成19年度一般会計予算の主な内訳

項 目	予 算 額	摘 要
議 会 費	1億3086万円	議員報酬など
総 務 費	16億7751万円	清水会館改修事業、携帯電話受信施設設置など
民 生 費	29億9995万円	シルバー人材センター・学童保育補助金など
衛 生 費	13億4634万円	ゴミ収集運搬業務・基本検診等委託料など
農 林 水 産 業 費	17億0302万円	有害鳥獣捕獲補助金、森林組合補助金など
商 工 費	7269万円	ふるさと体験施設指定管理料など
土 木 費	29億3468万円	産並駅・地域交流センター事業費など
消 防 費	6億1610万円	防火水槽設置費(3カ所)など
教 育 費	11億6462万円	金屋中学校地震補強・大規模改造事業など
公 債 費	33億5823万円	各種諸事業返済金

○平成19年度特別会計予算の主な内訳

項 目	予 算 額	摘 要
国民健康保険事業	35億7029万円	保険給付費など
老人保健事業	41億8391万円	医療給付費など
介護保険事業	20億4293万円	保険給付費など
簡易水道事業	7億545万円	水道施設費・公債費など
農業集落排水事業	3億109万円	総務管理費・公債費など
簡易排水事業	344万円	施設管理費など
浄化槽事業	3885万円	下水道費など
公共下水道事業	17億4947万円	施設整備費など
かなや明恵温泉	1億3174万円	施設管理費など
岩倉財産区管理会	6万円	財産管理費など
粟生財産区管理会	37万円	繰出金など
城山財産区管理会	169万円	財産管理費など
八幡財産区管理会	160万円	繰出金など
安諱財産区管理会	4万円	財産管理費など

(千円単位四捨五入)

地域交流センター・水の公園事業 JR藤並駅改築等に 17億5000万円強計上!!



第37回金屋町民運動会のような

質疑 町の財政が厳しくなってくる。今後の見通しはどうか。5%以上の利率の地方債を繰上償還してはどうか。

町長 借金を調べて金利の高いものを繰上償還できるよう検討する。

総務課長 平成19年度は28億7300万円返済するが、のちに負担が大きくなるように15%カットした。

質疑 旧金屋町で実施していた町民運動会は有田川町の運動会として行うのか。

町長 秋頃に全町民が集まって体育祭など運動会ができるようにしたい。

質疑 地域交流センター・水の公園建設についての事業効果と維持管理はどうか。

町長 地域交流センターと水の公園は別々の施設だがいっしょに設計するのはなぜか。

町長 今後コンサルタントと打ち合わせをする中で議会にも説明していく。地域交流センターと水の公園は一体となった施設にしているからである。

質疑 特急停車の見通しはどうか。

町長 上下各6本の計12本を停めてもらえるよう折衝中である。

質疑 林道の維持管理費はどうか。

町長 現在崩壊している箇所も多く、今後維持管理費が必要となってくる。

質疑 金屋中学校を改修することによって耐用年数はどうか。

町長 費用対効果もあり新築よりある程度の期間、安全な建物を保てるということである。

質疑 金屋中学校大規模改修の予算があまりにも少ないのではないか。

町長 この予算で震災に強い学校にできると思っている。

質疑 町道の維持管理費が少ない。地域の状況に見合う予算化を。

町長 町道でどうしても危険な箇所が出てきた



改修が急がれる金屋中学校

りすれば補正で対応したい。

質疑 中学校の海外研修、一人当たり37万円弱になる。一方、中学3年生の10人に1人しか行かない。見直しはどうか。

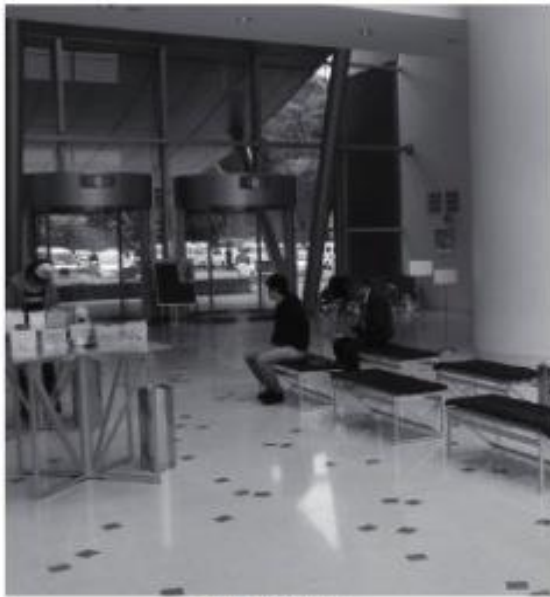
町長 節約しながら、今後も進めていく。

質疑 文化保健センターの会議室などの使用料が他よりも割高になっている。下げる考えはないか。

町長 個人的に使う場合は、今の料金でお願いしたい。



金屋文化保健センター(文化ホール)



吉備庁舎1階ロビー

質疑 社会見学のバス代補助金50%カットしたのはなぜか。

教育次長 社会見学の予算は半額しか要求できなかった。

町長 社会見学補助は今後、教育委員会と検討していく。

質疑 清水地区の支所・出張所を強化するべきではないか。

町長 統廃合の検討も上がっているが、地域の方々と十分相談し、必要

であれば置いておくべきだと思う。

質疑 清水地区の地籍調査、40年かかるといわれるが、20年で終える体制にすべきでないか。

町長 早く終えるよう全力で取り組む。

質疑 議場のモニターを1階のロビーに設置していただきたい。

町長 一度調査し、町民の方々がロビーへ設置してほしいとなれば検討したい。

平成18年度一般会計補正予算

補正額7061万7千円

(補正後額171億5367万8千円)

消防関係

- ・消防車、ポンプ車購入費に1億2860万円
- ・教育関係
- ・町内小中学校23校の修繕・改修に1000万円
- ・テニスコート、きび体育館の屋根の改修に3500万円
- ・清水小中の特別室、保健室のエアコン設置、金屋中のパソコン購入などに2855万円

町長 いろんな面から精査をして当初より大幅に縮小している。

町民に活用してもらえぬ施設にしていきたい。

条例の制定

- ・有田川町移動通信用鉄塔施設条例の一部を改正
- ・有田川町コミュニティセンター条例の制定
- ・(境川・西谷・井谷)
- ・有田川町特別職の職員で非常勤・常勤のもの

有田川町道路路線の認定

- ・町道小島天満川線 396m
- ・町道奥ノ田上西線 925m

有田川町人権擁護委員の選任の同意

- ・三輪琢造氏
- ・川口俊美氏
- ・橋本 彰氏
- ・池尻壽夫氏

質疑 水の公園(野田地区)や鉄道公園(徳田地区)の土地購入費が予算化されているが、これらの事業効果はあるのか。財政難の中で凍結すべきではないか。

・有田川町特別会計設置条例の一部を改正(住

宅新築資金半業特別会計は起債の償還だけになるので一般会計で処理することになった)

・有田川町国民健康保険税条例の一部を改正

・有田川町使用料の徴収に関する条例の一部を改正

・有田川町水源の森基金条例の制定

・有田川町公共施設整備基金条例の制定

・有田川町生石高原天文台条例の一部を改正

・有田川町課設置条例の一部を改正

町長にもの申す



中山町長

一般質問

こんなことが取り上げられました

登壇順	質問議員氏名	質問事項	登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	浦 博喜	<ul style="list-style-type: none"> ・吉備中学へのサッカー一部設立は進展しているのか ・国道424号の五西月地区における整備促進の見直し ・機構改革と意識改革について職員の意思を問う 	8	尾上 武男	<ul style="list-style-type: none"> ・新町の防災計画について ・小規模事業者登録制度について
2	殿井 典	<ul style="list-style-type: none"> ・町発注工事の請負や入札のあり方を問う ・交流センター及び水の公園について 	9	坂上東洋士	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式のあり方を問う
3	森谷 信哉	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業について ・デジタル放送移行にともなう住民への説明は 	10	東 武史	<ul style="list-style-type: none"> ・宣伝広告とインターネット活用について ・紀の国森づくり税の活用と山村地域振興策について ・公共下水道事業について
4	佐々木裕哲	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミについて ・藤並城址（通称 下津野土居の堀）の保存について 	11	増谷 憲	<ul style="list-style-type: none"> ・金屋、清水地区の5年間の建設計画について ・集中改革プラン計画について ・機構改革について
5	前勢 利夫	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備対策 ・産業振興対策 ・公共事業対策 	12	林 道種	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育での保護者の負担軽減について ・介護にかからない病人の対策について ・議案第3号での町長、副町長、教育長の給与減額に対する当分の間とはどのくらいか。
6	森本 明	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の充実を期待する 	13	堀江真智子	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援について ・障害者への支援について
7	竹本 和泰	<ul style="list-style-type: none"> ・町財政の見直しと建設計画は 			

注：平成19年4月1日より「助役」が「副町長」に役職名が変更しますが、今号の一般質問では「副町長」でなく「助役」と表記させていただきます。

行政の怠慢と言われたいためにも 新しい感覚で意識改革を!



浦 博 善

吉備中学校への サッカー部設立は!

質問 吉備中学校へのサッカー部設立は進展しているのか。

町長 サッカー部設立に向け、全力で取り組んでいる。吉備中学校では平成19年度当初の創部に向けて準備を進めていると聞いている。

グラウンドの状況はサッカー専用としては無理と思うが、時間を調整して対処してもらいたい。また緊急を要する場合はプールの北側を整地しサッカーの練習場として使えないか検討している。



教育長 町の強力なバックアップを得ながら、学校と協議を進め支援していく。

修理川バイパスの次は 五西月バイパス

質問 大型の公共事業を他所へ取られるのではないように、修理川バイパスの次は五西月バイパスとしての準備を進めるべきでないか。

町長 修理川バイパス



なかなか進まない小規模改修工事(西ヶ島地区)

は22年度に完成する。海南に向けての改修については、常に国と県に強く要望している。

五西月バイパスは、海南市や紀美野町と連携を取り、進めたい。

機構改革と意識改革 はどっちが有田町

質問 いくら議場で立派な討論をし、立派な文章を配布しても、すぐその後で幹部職員と議員が

仕事を早めに切り上げ、忘年会へ行くようでは、改革などできるはずがない。

機構改革と意識改革の観点から、昨年の12月21日に町長はじめ幹部職員と議員が午後4時30分に忘年会へ

のことを踏まえ、町長はじめ幹部職員の考えを問う。

町長 早く議会が終了し、忘年会を清水地区で行うため、少し早めに切り上げ出発した。課長級以上は出席せよと指示し、一時間の年休を取らせ出席させた。今後はこのようなことは一切ないようになりたい。

助役 住民に不安を抱かせないために、また行政の怠慢と言われたいためにも、既成概念にとらわれることなく、新しい感覚で全職員、一人ひとりの意識改革に取り組みたい。

総務課長 行政という既成概念を打破し、全く新しい感覚で町行政を見直し、職員の能力開発や意識・組織力の向上を積極的にはかり、職員の意識改革を推進していかなければならない。



町発注工事の請負や 入札のあり方を問う

殿 井 堯

請負業者の ランクアップは?

質問 請負一般業者の町のランク付けは、旧3町別にみて請負金額に差があり、また県や町において差がある。統一すべきではないか。また、各旧町のA、Bランクの金額を聞きたい。さらに旧清水庁舎解体工事の指名は、Aランクである9社の中にBランクの2社が入っている理由はどうか。

町長 各旧町のランク別金額は、旧吉備町ではAランクで4000万円以上、Bランクは1500万円以上4000万円未満。旧金屋町ではAランクで5000万円以上、Bランクは1000万円以上5000万円未満。旧清水町ではAランクで4000万円以上、Bランクは1500万円以上4000万円未満となっている。県と町との

差は、県の評価点と町独自の評価点が違うために生じる。また、町の請負金額にも差があり、これも合併時には問題になったが、地域の事情もあり旧町方式でやってきた。早く有田川町として統一したものにしていきたい。

助役 今回、旧清水庁舎の解体におけるAランクの基準ですが、新しい入札方法に統一していない中、旧町の指名方法で



解体される旧清水庁舎

清水地内の特定の2業者を入れた。

交流センターの 水の公園の規模は

質問 交流センターと水の公園の規模、内容について問う。また、入札はプロポーザル方式（課題に対する提案・業務の実施方法を基に、最も適した「設計者」を選ぶ方式）でおこない、8社指名した。しかし2社しか参加していない。この方式はわが町に適した方式なのか。なぜ、6社がボイコットしたのか。もう一度やり直して発注しなかったのはなぜか。

町長 規模は12000㎡の敷地で、交流センターは21000㎡規模でバリアフリーとなっている。できるだけコ

スト削減に努力していきたい。プロポーザル方式を選んだのは、その豊富な知識を聞かせていただき、一番いい方法で指名したかったからだ。しかし、6社が参加しなかったことは、私としても非常に残念だ。工事の都合で最終的に2社になった。今後、この入札の対応についても気をつけたい。

助役 8社の選定に当たっては、事業所の技術者、事業実績等参考に選定した。

企画課長 この方式を採用したのは、町づくりの基本目標に合致しているかどうか。また、この企画能力に優れているかどうかであった。体制が充実している業者、公園づくりに実績がある業者を選定し、結果的に2社になった。また、6社が提案しなかった理由を確認していないが、提出の義務はない。

観光による活性化を



森 谷 信 哉

観光協会の合併協議状況はどの程度進んだか

質問 有田川町の観光産業の発展は、旧3町の観光協会の協力で進めると思うが、現在どのような体制で協議が進んでいるのか。

町長 合併後、観光協会の会長が3回にわたり協議をし、3月中旬に第1回の設立準備委員会を開き、そこで19年7月に旧3町の観光協会を合併して、新しく有田川町の観光協会として発足させたいと思っている。また、私からも一本化できるように要望したい。

広域的な協働体制は

質問 観光により町と町を結んでの地域発展効果がある。現在、出入り口の整備が進んでいる中、有田郡の1市3町関係諸団体が協力して高野

山までの広域的な協働体制が必要と思う。町長の考えはどうか。

町長 これからの有田地域の観光は各町のみならずがお互いに考えて協力していかなければならない。広域的な観光マップは3月頃完成予定である。今後はマップを使って町内外へ発信をしていきたい。

**産業として観光に
対する思いは**



田圃え体験(清水)

質問 全国的に過疎化



ぶどう園のぶどう狩り(川口地内)

・高齢化の地域は雇用の場が少ない。しかし、そのような地域でも行政と観光が互いに協力して観光で活性化している。また、観光と道路は切っても切り離されないと思うが、道路ができるまで待っていれば地域は衰退してしまう。町長の考えは。

町長 姉妹都市である高石市に、地元の野菜等を持って行けばよく売れている。まだまだビジネスチャンスはあると思

う。また、観光以外に清水地域の活性化はないと思う。また、国道480号線についても観光バスが運行できる道路になるよう、国・県に働きかけたい。

**利用者
に対する説明は**

質問 2011年7月までにデジタル放送に完全移行されるが、肝心の利用者に対して説明が不十分である。今後の進捗状況等の説明会を行うのか。

町長 平成19年中に試験電波が流れ、調査しその後、共聴施設改修の負担金など、分かりしやすい地域へ出向いて説明する必要があると思う。





文化と環境にやさしい町づくりを

佐々木 裕哲

アルミ缶・白紙等の 売却代金は

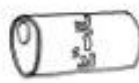
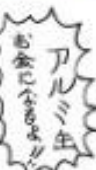
質問 今回行われた廃

プラ収集一般公募入札について、以前から町民、議会よりコスト引き下げの意見があり、町長の決断により、3020万円の見込み額に対し、1330万円と44%で落札された。県下でも初めての試みではないか。

今や資源ゴミ（アルミ缶や新聞紙等）はゴミではない。売ればお金になる。空き缶で年間138t、古紙で約1000t収集されている。今は資源高騰のため、安くみても1300万円くらいになる。町は収集分別費に年間約3300万円支払っている。資源がお金になるということを感じないのか。売却代金は町の収入として処理されるべきだし、町民のために他に使えるのではないか。

町長

廃プラ一般公募入札は町内の方が安く落札し、経費節減になっている。資源ゴミは経費に要したお金と売れたお金を計算し、安くできるようにする。収集運搬も入札を含めて考えていく。



藤並城址の看板設置と 町内の文化財マップを

質問

この城は今から700年前、湯浅党支配下の下津野三郎が築城したと言われ、中世の藤並荘の居城として室町時代まで約300年間栄えたが、秀吉の紀州攻めで滅んだ。有田川町内において、吉備地区に8ヶ所、

金屋地区に8ヶ所、清水地区に14ヶ所の城があった。有田地方には計62ヶ所あり、県下では803ヶ所ある。

下津野城は平城で当時の土塁や堀が残っているものとしては貴重な文化財である。県下、全国的にみても珍しいと専門家は言っている。歴史文化はお金では買えない。私達は歴史文化を知ることにより、郷土愛が育ち、それが未来への町づくりの基礎となるのではないか。

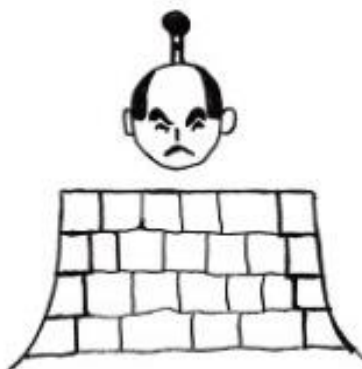
多くの方に知ってもらうため、案内板を設置したらどうか。また、町内には数多くの文化財があるが、文化財マップを作成して広報してはどうか。

町長

大々的に今はできない

教育長

下津野城址は県下でも唯一、学術的にも非常に価値があると考えている。有田川町の長期総合計画の中へ入れて整備を進めていきたい。案内板は平成19年度中に設置する。文化財マップも早い時期に作り、文化財保存に活用したい。



道路整備と産業振興は



前 勢 利 夫

道路整備について 取り組むのか

質問 国は本年（19年度）第14次道路整備中期（5カ年）計画を作成するとともに、道路整備に充当するため続けてきた道路特定財源の一般財源化を（20年度）検討する方針が決められている。それに伴い、いまだ地方は幹線も含め県道町村道の整備はきわめて遅れており、その対応が急がれる。どう対処していくのか。

町長 生活を支える道路の整備は絶対必要である。地方は一貫して特定財源の維持を強く要請しているが厳しい状況である。関係市町村と連携を深め住民とともに強力な陣営運動を進めていく。

質問 日本一の生産地として、またブランド商品団体登録許可を受け、内外ともに有望視される

有田みかんを活性化させるため農家・農協・個販と連携し、果樹試験場や近畿大学等に働きかけ、更なる品種改良、病虫害対策に取り組め。

町長 主力産業として力を入れ、さらに美味しくてすばらしいブランド品としての立場確保のため関係機関と提携努力していく。

山椒の団体商品登録を

質問 過疎地域唯一の換金有望品としての山椒の団体商品登録認定を急げ。

町長 J Aも努力されており、行政としても支援する。

間伐材の利用増大 と取り組む

質問 ラワン材（合板資材）の産出国の輸出規制により、国内産の杉や桧の利用が高まってき

た。特に放置され続けた間伐材の使用が高まる傾向にある。受け入れ体制を急げ。また、国は間伐林面積を現行の120万haから330万haに増やす目標を打ち出した（5年間）。地元として具体的にどのような受け入れるのか。さらに中国との取引の進展具合はどうか。



木材集材現場

町長 間伐材の受入体制について、現行の西ノ原加工場設備では不可能なため、今後の状況を見て対応する。間伐林面積

増大による受入体制については、県とよく相談し積極的に対応する。中国との関係は9月に東京で対応することになっている。

中小企業活性化 への取り組みは

質問 中小企業対策の関連として、「町づくり」の方策が予算特別枠として国で約3090億円予定されているが、藤並駅周辺整備を通し、中小企業活性化を進めることが、わが町はもとより周辺中核地帯の構成上、欠かすことのできない町づくりである。行政の基本計画樹立と取り組みを聞く。

町長 本町は農と共に中小企業の町である。地域発展のすべてはこれらの活性化にかかると。総務省の「がんばる地方づくり」10項目をよく精査しながら、懸命に取り組む。



教育、農業施策の充実!

森 本 明

質問 学童、幼児教育の一元化にむけて、福祉課児童係と学校教育係を統合し、仮称「子ども育成課」を設置できないか。

所管中央官庁も違い、目的が福祉・教育とそれぞれ異なり、縦割り行政の中で難題と思うが、実施されるよう研究・検討を求める。

町長 子どもを取り巻く環境は、虐待・いじめ問題等非常に厳しいものがある。指摘の通り、専門家の知識が生かされるよう、実施に向けて検討したい。

教育長 担当課間で話し合いをもち、検討を重ねたい。

質問 地域社会が希薄になる中、保護者間の連携、親睦を図るべく、クラス対抗親子スポーツ大会等を行ってはどうか。

町長 先生、保護者間の連携・親睦は教育で一番大事なことであり、今

後は機会を見つけて実施したい。

教育長 親子スポーツイベントの充実に努めた

質問 オーストラリア研修はグローバル社会の中で、大きな成果が期待されるが、自己負担金を用意できない家庭もあるのではないか。教育は平等が大前提である。平成10年からの事業成果を一度開示せよ。

町長 研修は非常に大きな成果が得られており、今後も実施したい。しかし行けなかった方からの不満も聞いている。負担金は分割制度や軽減措置を考えている。

教育長 現在までの研修成果を一度総括し、まとめて開示したい。

質問 町のホームページで、町内遊休農地など（公開可能な情報）を団塊世代の方々に発信をしてはどうか。

町長 荒廃していく棚田を守るためにも、貸してくれるよう地主に働きかけていきたい。

産業課長 農地を借りたい方は多いが、提供者が非常に少ないのが現状だ。今後、農地銀行制度をあらゆる方法で宣伝していきたい。

質問 有田川農業者年金協会が「結婚相談所」

を開設したが、大きく展開することを期待する。

町長 農業者年金者協会の方々も、非常に熱心に取り組まれており、期待している。

産業課長 開設したばかりだが3月15日現在で、男性3名、女性1名が登録されている。今後いろいろな形で広報活動等を行い、組織の充実に努めたい。

有田川町農業委員会
～農地銀行制度～
農地を貸したい!
農地を借りたい!

お問い合わせ先
有田川町農業委員会 農地銀行課
〒957-0001 有田川町大字大田1-1-1
TEL: 0273-22-3111

結婚相談所

有田川農業者年金協会
〒957-0001 有田川町大字大田1-1-1
TEL: 0273-22-3111

町財政の見通しと建設計画を問う



竹本和泰

町財政の見通しは

質問 厳しい財政の状況下、将来の行政運営についての認識は。

町長 財政の見通しは非常に厳しい。行財政改革のため集中改革プラン5カ年計画を立て、歳入と歳出の見直しを進め、将来も持続可能な財政構造にしていきたい。また、

当町の標準財政規模は約92億円。地方債残高は平成18年度一般会計と特別会計を合わせると329億4千万円。平成23年度は338億3千万円に増加する見通し。公債費比率は平成18年度21.5%、平成23年度21.6%の見込み。経常収支比率は交付税の減少から、平成18年度98.8%、平成23年度109.2%へと悪化する見通しである。

	平成18年度	平成23年度(見込)
標準財政規模	92億円	
地方債借入額	329億4千万円	338億3千万円
公債費比率	21.5%	21.6%
経常収支比率	98.8%	109.2%

※平成23年度(見込)は現状の行財政運営を続けた場合の数値

専門用語注釈

【公債費負担比率】

公債費(借入金にかかる元利償還金)に充当された一般財源に対する割合15%以上で警戒ライン、20%で危険ラインとされている。

【経常収支比率】

人件費・扶助費・公債費など経常的な支出に、町税交付税など経常的な収入がどの程度充当されているか財政構造の弾力性を判断する指標70%~80%が適正水準、80%以上となると財政緊縮。

建設計画の動向は

質問 合併後10年間で533億円の建設事業が計画されているが、厳しい現財政状況の下、この事業実施の見込みは。当該建設事業費は旧3町に割り振りされている。財政的に事業費縮小となった場合、旧3町の事業の均等は保たれるのか。

町長 合併に伴う533億円の建設事業計画を基本とし、継続事業は一年でも早く完成させ、実施を検討している事業は着手に向け進めたい。計画の縮小や実施できない事業がある場合に、合併時旧3町の配分枠を組んでいるので、その均等を保ちながら実施していきたい。

質問 当町の予算は標準財政規模からみて大型である。経常収支比率も98.8%と高く、100%を越すと投資的的事业は無理となる。公債費比率も21.5%で赤信号の状態である。建設事業も見直さないと財政は大変なこととなり、このツケは町民への負担増となって表れてくる。見通しのある行政運営を望む。

町長 当初予算162億円であり、一年でも早く標準的な財政規模になるよう努力したい。また、経常収支比率で平成23年度109%の見込みについては非常に危険な数値である。この数値を低く抑えるよう努める。

助役 建設事業計画は旧3町合併での計画である。現在、継続事業を進めているが、吉備のほか、金屋、清水地域についても住民要望にそった事業計画で進めていきたい。

と投資的的事业は無理となる。公債費比率も21.5%で赤信号の状態である。建設事業も見直さないと財政は大変なこととなり、このツケは町民への負担増となって表れてくる。見通しのある行政運営を望む。



有田川町全域の防災計画を急げ

尾上 武 男

防災計画の重要性

質問

近いうちに東南海・南海地震が発生すると予想されている。そのときに思わぬ事態が発生しても不思議でない。

①旧3町で防災計画を作成しているが、有田川町になって一年が経ち防災計画はでき上がっているのか。

②有田川町は、県下町村の中で一番広い町になり防災計画を様々な面で考えていかなければならない。また高齢者比率も高く、一人暮らしや寝たきりの老人もおられる。そういう方々を助けるにしても消防団だけでは無理があり、近所の方々に助けを求めなければならぬ。

新しい区長、区役員さんに相談しながらその地区に合った計画にすべきである。



林道での災害現場

③国道480号線や424号線が、寸断されれば山間地域が孤立し、そのときはどう対処するのか。

④吉備地区の防災マップで熊井、水尻、明王寺地区の避難所が藤並小学校に指定され遠いので、この避難所の再検討を要する。また公共施設、小学校が避難場所になっているが、耐震調査はすすんでいるのか。
⑤災害に備えての備蓄食料は、賞味期限が近づいてきたらどのように扱うのか。

町長

①防災計画は、3月中旬に素案ができる。この計画は、災害対策の基本であり、地域での訓練により高度なものをつくる。
②自主防災組織や社会福祉協議会、民生児童委員など関係機関と協議をしている。

③道路網については、主要道路を確保していく。

④各区で自主防災組織をつくれれば、その組織に50万円を補助している。

⑤備蓄食料の扱いは、消防団、福祉大会、各学校で試食していただくのもひとつの方法である。



備蓄食料

小規模事業者登録制度で業者の仕事

質問

入札制度に参加できない中小業者を育成するためにこの制度をつくってはどうか。例えば一人暮らしや老人だけで住んでいる家庭のバリアフリー、また火災報知器の設置が義務付けられようとしている。それに町がこのような工事を小規模業者に発注し業者を育成してはどうか。

町長

小規模事業者については、町の方へ指名願いを出してもらえればどんな小さな業者でも配慮させてもらう。



成人式のあり方を検討すべし!



坂上 東洋士



平成19年成人式



着物の新成人

質問 今年1月7日に金屋文化保健センターで開催された成人式に初めて参加したところ、女性の約95%の方々は振袖の着物姿であった。美容室を営む方から話を聞いたところ、午前10時開催というのであれば、未明の午前1時頃から美容と

着付けをしなければ、とうてい間に合わないというところで、商売とはいえず大変忙しくもあり、若者にとっても大変なことだ。

このころは温暖化の傾向で、あまり雪が降らない状況であり、気象条件はその年々で分らない。積雪の道路を車で走行中、事故でも起こしたら、晴れ着姿どころではなくなる。また、開催場所を当分の間、旧3町各地区での持ち回りにならないものか。

若者に中山間地域の実情を見る機会を提供することも地域間交流や調和を図る上からも大切ではないか。



町長 開催場所は、成人される方々の旧3町での人数等も考慮して決めなければならぬが、開催時期は検討する。

教育長 来年の成人式は1月13日に金屋文化保健センターで開催することがすでに決定している。ただ開催時間は、さまざまな事情を検討して4月中に決めたいと考えている。



いかにお金を稼ぎ、いかに節約するか！

東 武 史



ネーミングライツの導入例(日高町)

広告料やネットオークションの活用を

質問 ネーミングライツ(施設命名権)の導入や町広報・ホームページへの民間広告掲載を検討しているのか。また、インターネットオークションを活用しては。

町長 スポーツ公園やきびドーム等があり検討したい。また当町の広報(12000部/毎月)で広報の裏ページに広告を乗せることになった(毎日広告社が落札/年間52万7千円が町財政へ)

紀の国森づくりの活用を

質問 紀の国森づくり税の活用の準備・提案はできているのか。

町長 県の方向が定まらないうちに、なんらかの応募をしていく。

公共下水道事業は国の負担を減らさなければならない

質問 今後約20年かけ(平成15年から平成33年)約158億円の公共下水道事業を実施する。そのうち半分は国庫補助金。残りの半分は一般財源と起債で賄うことになるが、そのうち約45%(現在)は交付税で返してくれる。現在、起債である下水道事業債2.2%、元金5年据え置きで償還期間は30年間で計算すると、

実質町から出すお金は約53億円。平成21年4月より一部供用開始で、最終的には加入供用率を100%の1万2400人(約3600戸)と設定するが、農業集落排水事業でも約8年をかけて78.4%(吉原地区)が最高である。また、新規で何もかもするところは、宅内改装工事も含め100万円は超えてしまう(各家庭の状況による)ため、供用できないところも出てくる。このように加入供用率が町財政を左右する。さらに国庫補助金や交付税参入額は国の現状から考えると下がり、下水道事業債の率は上がる可能性がある。この事業は実施されるべきなのか。

町長 約158億円の計画だが減る予定。今年から一部導入される新型交付税。



吉備浄化センター完成予想図

これは面積よりも人口に比重をおいた計算方式であり、当町でもいかに人口を増やすかが重大となる。また、宅地に適したところでも排水のないところも現存する。そのためこの公共事業に取り組んでいるが、今後国の補助率や起債の金利の変動が予測されるので、状況を見極めながら事業を進めたい。

金屋、清水地区の今後の事業計画は



増 谷 憲

これまで予算化された合併特例債は以下のよう
に使われます (平成19年3月当初予算も入れて)

都市計画債 (まちづくり交付金事業)	14億2860万円	④に対する比率 (59.0%)
総務管理債 (集会所建設・鉄塔施設整備等)	3億3150万円	(13.7%)
道路橋梁債 (古備インター連絡線等)	3億1480万円	(13.0%)
農業債(大谷農道等)	1億4310万円	(6.0%)
中学校債 (金屋中学校改修)	9540万円	(3.9%)
林業債 (林道)	5470万円	(2.3%)
小学校債	4940万円	(2.0%)
消防債 (防火水槽など)	550万円	(0.2%)
合 計 ④	24億2300万円	(100%)

5年間の計画は どうですか?

質問 計画している全
体の事業と額はどうか。

町長はAランク(最優
先に位置づけている)の
建設事業しか進めないよ
うだが、そうすると町道
の整備では、清水では計
画の23%しかできなくな
る。金屋と清水でどのく

らしい事業計画か。

合併特例債は金屋、清
水でどのくらいの額を見
込んでいるか。

有田川町の長期総合計
画には、合併で決めた事
業計画をどのようにのせ
ているのか。

町長 10年間で533
億円の事業計画や当面の
5年間の金屋や清水の計
画は出せる状況でない。

合併前から計画している
金屋、清水の継続事業は
進めていく。

企画課長 6月議会に
長期総合計画の基本構想
に伴う中間報告をする。
8月に答申され、9月議
会に出す予定になっている。

集中改革プランや 統廃合の計画はありますか?

質問 集中改革プラン
(行財政改革)の内容を
明らかにし、その計画を
議員に提出していただき
たい。また当面、実施し
ていくものは何か。

町長 議員に提出させ
ていただく。住民票や印
鑑証明書の発行手数料を
1件につき1000円の値
上げを予定している。今
後、保育所や小中学校、
出張所施設の統廃合も出
てくるが、住民の方との
合意がなければできない
と思う。

この4月からは、役場

内の消耗品費や食料費、
義務的経費の削減、町長、
副町長、教育長の報酬の
削減、交際費の削減をし
ていく。

機構改革のあり方は

質問 住民サービスの
低下にならない機構改革
になっているか。職員の
配置と議会へ出席しない
課長職はどうなるのか。

各保育所の所長の中
で所長を代表する総括所長
職がある。この所長を議
会へ出席されるよう求め
たい。

町長 住民サービスの
低下にならないよう十分
配慮したい。清水の行政
局長を除く課長は別とし
て古備や金屋の課長は議
会へ出席させる。清水の
課長の対応は今後考えて
いく。総括保育所長の議
会への出席は今後、検討
していく。



義務教育での保護者負担を軽減せよ

林 道 種



藤並小学校

質問 子どもが一年間に学校に持っていく金銭は、給食費10500円、学級費3000円、5000円の3回分で1万円以上となる。3人の子どもがいれば、年間6万円以上必要となる。複数の子どもを持つ家庭は大変だ！

複数の子どもを持つ家庭は大変だ！



もを持つ家庭での保護者負担の軽減についての考えはないのか。
教育長 生活保護家庭等での無料等はあるが、その他については考えにくい。

医療相談員は、有田郡市内の済生会病院、西岡病院、有田市民病院に常駐されており、お困りの方はお問い合わせ下さい。

質問 家庭介護のできない患者に対する町当局の対応はできているのか。
福祉課長 町当局での対応はできないが、日高病院や済生会病院に医療相談員があるので相談していただきたい。

長期入院患者への対応は



役職名	旧報酬額	新報酬額
町 長	70 万円	66万5千円 (△3.5万円)
副町長	58 万円	56万5千円 (△1.5万円)
教育長	50 万円	49万円 (△1.0万円)

質問 今議会に提案されている町長、副町長、教育長の給与減額の期間が当分の間とされている。当分の間とはどのくらいの期間をさすのか明確にしたい。
町長 今の任期中は提案した額で実施する。

給与減額の期間を具体化する

子育て支援や障害者への 支援は大切です



堀江 眞智子

保育料はいつか

質問 定率減税の廃止等で保育料の引き上げに影響がないのか。

町長 18年度、所得税が上がった場合や、住民税が非課税から課税となったのであれば、変更は考えられるが、定率減税の廃止に伴う変更はない。

保育の充実を ついでに進めよう

質問 新町の具体的施策において、保育の充実及び子育て支援は、4点の主要施策が挙げられている。藤並保育所の0才児保育・一時預かり・日曜保育と子育て支援センターの設置、保育サービスの充実、少しずつ進んでいる気がする。各地域の保育所でも、保護者が気兼ねなく長時間保育を受け付けてもらえる体

制をとることが大切ではないか。日曜保育の別途料金徴収は、具体的な金額も示さず、親は尻込みをするのではないか。平日の休みとの振り替えを考えてはどうか。

町長 19年度から藤並保育所での保育サービスの充実や、藤並地区でのシルバー人材センターによる「子育てランド」などが始まる。ここでは、夜9時30分まで子どもを預かってくれる。

福祉課長 日曜保育の別途負担は、一日2100円、半日1050円。お弁当持参のこと。料金はその日払いとする。

質問 藤並保育所で、0才児保育は、離乳食の手間と数量の増大を考えると、調理員を増やす必要がある。また、子どもの送迎時、保育所周辺に車の駐車場所がなく、駐車場の確保が必要でないか。

合併に伴い、職員の異動が行われているが、保育士は、仕事の時間などを考慮し、本人の希望を尊重すべきではないか。

町長 保育士の異動は、慎重に考える。駐車場の確保は、近くの遊休地を借りられるよう検討する。

福祉課長 給食調理員の増員は、保育所から希望があり、増員の準備を進めている。



藤並保育所

障害者への支援を

質問 作業所の利用料無料化と、精神障害者の

通院医療費の助成を求めている。

町長 4月から低所得者に対して、通所施設・在宅サービス等の利用者負担軽減改善特例措置をとっていく。資産が一定以下であれば、経過的に4分の1とする。また、3年間の特例措置として、年28万8千円まで残るよう、工賃控除をする。食費・光熱費の負担もなしとなる。申請を出してもらえるよう現在該当する約80名に通知を出している。行き場所がなくならないよう、小規模作業所にはできるかぎりの補助をする。

福祉課長 1市3町の担当で検討したが、財政が厳しく、今は補助できない。しかしストマ（消化管の疾患などにより、腹部に取り付けられる嚢便・蓄尿袋）はいつも体から外せないので無料にすることを決めた。

議長・副議長就任あいさつ



議長

亀井次男(59歳)

【主な経歴】

(現)有田郡町村議会議長会会長
全国町村議会自治功労表彰勲続30年



副議長

林道種(72歳)

【主な経歴】

全国町村議会自治功労表彰勲続15年

町民の皆さま方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私もこのたび有田川町議会議長(再任)並びに副議長(新任)に就任いたしました。

もとより微力ではありますが、地方自治の伸展と住民福祉の向上に最善の努力をいたす所存でございます。

何とぞ、今後とも格別のご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年3月吉日

読み手サイドにたった編集を
—第65回 町村議会広報研修会に参加して—

議会広報編集特別委員会 委員長 岡 省 吾

去る2月27日から28日の2日間にわたり、東京都平河町砂防会館において開催された、第65回町村議会広報研修会に参加しました。

文章作成の基本として構成する上での表現の技術や読み手サイドにたった編集のあり方について講演していただき、文章作成の重要性、そして興味



研修風景

の引く記事作りの難しさを改めて痛感しました。今回の研修で得たことを今後の「かわら版」作成に反映させ、住民のニーズにそえるような、紙面作りに努力したいと思います。

また充実した広報誌にしたいと思いますので、皆さまから多くのご意見、ご要望をお待ちしております。



休日のひととき（高速4車線化工事が進む河川敷）（写真提供：坂上多彦氏）

請願・陳情

請願

○主要国道美里鹿神線、堂
鳴海トンネル（仮称）整
備事業の実現を求める

陳情

○過疎地域における集配局
の維持・存続を求める意
見書の提出

おわびと訂正

議会広報第4号の中で
一般計補正予算に低コスト
ハウス（トルコキキョウ）設
置補助金とありましたが、
トルコキキョウではなく、ス
プレー菊のあやまりでした。
訂正してお詫び申し上げ
ます。

議会広報編集特別委員会

議会広報編集特別委員会 構成メンバー

- | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| ○岡 | ○増 | ○堀 | ○東 | ○浦 | ○西 | ○森 |
| 省 | 谷 | 江 | 武 | 博 | 弘 | 谷 |
| 吾 | 憲 | 眞 | 史 | 善 | 義 | 哉 |
| | | 智 | | | | |
| | | 子 | | | | |
- 〒431-8501 有田川町吉備庁舎4階
TEL 052-211-1111

編集後記

今年の冬は非常に暖かく、春一番も早々に吹き荒れ、桜の花も例年より一週間ほど早く開花した。今は新緑がまぶしい季節となった。ところで、国連機関の最新報告によると、今後100年で最大5.8度の気温上昇が予測されている。それにより南極などの氷がとけ、海面上昇で島国が水没する。日本でも1メートルの海面上昇で砂浜の8割が消えるそうだ。そして最大の問題は、世界的な水・食料不足に陥ることである。食料自給率が約40%の日本は、食糧危機の危険性が最も高い国のひとつである。これでは寒がりの私も単純に喜んでいられない。

（東）

お問い合わせ
☎52-211-1111
吉備庁舎4階
議会事務局まで